真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度

事務事業評価マネージメントシート

作成日　令和8年3月12日

事務事業名	介護予防事業		担当課・係	健康福祉部　高齢福祉課　高齢福祉課・地域支援係
政策名　No	2	「笑顔づくり」～安心と元気アップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	3	高齢者福祉の充実		

成果指標 名称	単位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
介護予防教室の実施回数	回	408					
介護予防教室参加者数	人	6,142					
認知症予防ボランティア育成数(延べ)	人	129					

事業内容

①65歳以上の高齢者を対象に、いきいき運動教室や健康教室等の介護予防事業を実施する。委託先：いがしら温泉・ディサービス未来・ハピスマイル
・教室の参加者の評価として事前・事後の体力測定以外に、満足度や目標達成度を導入。
②認知症予防ボランティア(オレンジサポーター）を隔年実施。本年度は9人の新規養成
・認知症予防ボランティアが、自身の介護予防も兼ね活躍しながら、参加者とともに介護予防ができるような仕組みづくりになっている。
・市としてボランティアのフォローアップ教室を実施したり、後方支援しながら自主教室を支えている。

前年度の課題（Check）

①新規参加者の獲得が課題。
　いがしら温泉のバーデプールが閉鎖されてからプールでの教室がない。膝・腰痛の痛みの改善に効果のあるプールでの教室が欲しい。
②認知症予防ボランティア自身の高齢化と新規育成者が増えるようにしたい。

7年度振り返り

【1】実績（Do） 7年度に実施した事業
①介護予防教室：いがしら温泉：11コース（筋力アップ6コース、骨量アップ１コース、エアロビクス2コース、マシン2コース）
　　ディサービス未来：4コース（内2コース送迎あり）、フレイル予防教室：4コース
②・認知症予防ボランティア養成講座：9人参加　1コース8回
　・認知症予防ボランティアフォローアップ教室：6回　138人参加

【2】結果と課題（Check）
・介護予防事業への新規参加者の獲得と自主グループの支援
・ボランティアの新規養成者を増やすことと、現ボランティアがモチベーションをアップしながら継続参加できるようにする。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
・市内のプール施設での水中運動教室の開催
・参加者の出席率や満足度を高くするよう、委託事業所と教室の流れや対象者との情報交換を密にする。
・認知症予防ボランティア(オレンジサポーター）が自身の介護予防を兼ねながら、参加者とともに介護予防できるような仕組みができているため、市として後方支援しながら自主教室を支える。
・ぴんころ教室(ハピスマイル講師を呼んで月に2回運動教室：講師謝金は参加者が500円ずつ負担）の後方支援

(2) 長期的な計画で検討すること
・介護予防に取り組む市民が増加する。
・自主グループが継続的に運営できる。